

政策コンテスト 政策提言書

みんなの



おおい町未来仕掛け人

☆チーム紹介

おおい町未来仕掛け人

☆メンバー紹介

No.	氏名	
1	秋庭 康介	
2	岩佐 桂助	
3	斉藤 萌	
4	谷口 司	
5	塚本 真里	
⑥	時岡 良太	
7	中谷 航平	
8	堀口 奈穂	
9	森本 千晶	
10	渡邊 絵梨奈	

※○はリーダー

☆活動紹介

平成 27 年度におおい町で開催された「若者ワークショップ」をきっかけに集まった有志団体です。おおい町に住んだり働いたりしているわたしたちは、月に 1 回程度集まって、自分たちが前向きに取り組んでいきたいことや、自分たちが暮らしていくまちのためにしていきたいことなどを具体的に議論し、事業につなげていくための方法について話し合っています。

今年度から、4 つの部会に分かれ、イベントの企画、まちづくりについての勉強会の実施を予定しています。

《主な活動実績》

平成 28 年度：町内音楽イベントにおいてシシ肉コロッケの販売

平成 29 年度：ウーマンラッシュアワーとおおい町の未来を考える討論会の企画

提言要旨

現状・課題

- ・土日祝に子どもを預けられる場所がない

政策提言の内容

- ・☆みんなの我が家づくり
- ・保育×体験×場の提供
- ・保育をきっかけとしたコミュニティ形成

目標・効果

- ・単に子どもを預かるだけの保育ではなく、そこで様々な人と交流し、様々な体験することで、そこに関わる人みんなで成長していけるような空間を目指す。
- ・町民同士の交流促進、文化の継承、生きがいに繋がる

町民によって創り出される町民の幸せを、
みんなで感じられる場に。



いつか、帰ってきたくなる町に。

はじめに

「おおい町は子育てがしやすい町だ」という町民の声をよく耳にする。子育て支援の制度は、妊産婦の医療費の無償化をはじめとし、保育料が安いことなどが近隣他市町と比べて整っている。さらに、幼児だけでなく、こどもの医療費の無償化や保育園の待機児童ゼロなど、学童保育の点に関しても充実している。しかし一方で、おおい町には現状として「子育て中の女性や若者が気軽に集まることができる場所が少ない」という声や、「長期休暇や土日は仕事と子育ての両立が厳しい」、「保育園への送迎の時間が間に合わない」といった声も少なくはない。

そこで、おおい町は町民にとって本当に「子育てがしやすい町」であるのか、ということ明らかにするために調査を行うことにした。また、現在のおおい町の子育てに関する町の主な補助制度と学童保育の現状（表1）は、以下の通りである。

☆子育てに関する町の主な補助制度

- 妊産婦の医療費助成・・・母子健康手帳の交付日から出産した月の翌々月末日までの期間中に、健康保険の適用を受けた医療費の自己負担額を助成
- 第2子以降の保育料の無料・・・保育料は国の定める負担額に比べ大幅に減額（約6割減額）しており、さらに第2子以降は無料
- 学校教育の支援・・・学校に支援員等を配置し、子どものための相談や支援体制の充実、タブレット等を活用したICT教育にも力を入れ、子どもの可能性を広げる

表1：学童保育の現状

	時間	場所	料金	休み	延長	内容
本郷	下校 ～ 18:00	あみーシャン大飯	100円/日 保険料4,800円/年	土・日・祝日 お盆・年末年始	18:00を過ぎる場合は、園で保育。 追加料金100円。	運動(体づくり) 勉強(宿題等) 地域活動への参加 ふれあい等
佐分利	下校 ～ 18:00	ふるさと交流センター	100円/日 保険料4,800円/年	日・祝日 お盆・年末年始	-	
大島	下校 ～ 18:00	はまかぜ交流センター	100円/日 保険料4,800円/年	日・祝日 お盆・年末年始	18:00を過ぎる場合は、園で保育。 追加料金とっていない。	
名田庄	下校 ～ 18:30	奥名田児童センター	2,000円/月 保険料4,800円/年	土・日・祝日 お盆・年末年始	-	

調査方法

調査は、アンケート方式（図1）により行った。基本情報として回答者の年齢、現在住んでいる地区、家族構成、近くに子育て支援を頼める人がいるかどうかを尋ね、併せて現在の保育園、学童保育における保育時間、開設日、料金について現状に満足しているか否かを問うた。回答する際は、「満足」、「どちらかといえば満足」、「やや不満」、「不満」の4段階に分けて回答してもらった。

アンケートご協力のお礼
おおい町未来仕掛人

この度はアンケートにご協力いただき誠にありがとうございます。このアンケート結果は11月に開催される、「おおい町政策コンテスト」にて、本業仕掛人が考案する「市民グループによる政策発案」に活用されます。このアンケートで頂いた情報は政策発案以外の用途には使用いたしません。
※アンケートの所要時間は2分程度です。
※締め切りは誠に勝手ながら10月31日までとさせていただきます。

各項目に該当するものに○をつけてください。

【1】 あなたの年齢はどのくらいですか。

① 20歳未満
② 20～24歳
③ 25～29歳
④ 30～34歳
⑤ 35～39歳
⑥ 40～44歳
⑦ 45～49歳
⑧ 50歳～

【2】 どちらがお住まいですか。

① 大株
② 本株
③ 外分枝
④ 名用庄

【3】 保育園、学童保育につきまして現状はいかがでしょう。4つの項目（満足～不満）のうちいずれかに○をしてください。

・時間について
満足 / どちらかという満足 / やや不満 / 不満

・開設日について
満足 / どちらかという満足 / やや不満 / 不満

・料金について
満足 / どちらかという満足 / やや不満 / 不満

・その他保育園や学童保育について思うこと（自由回答）

【4】 同じ住んでいる家族について
該当する項目すべてに○をお願いします。子どもの項目は、人数の記載をお願いします。

① 子ども（未就学児） 大小学生 大中高生～ 大
② 自分
③ 自分の父
④ 配偶者
⑤ 配偶者の母
⑥ 配偶者の父
⑦ その他

【5】 近くに住んでいる、子育て支援を頼める親戚または友人はいいますか。
① はい
② いいえ

アンケートは以上になります。
ご回答ありがとうございます。

図1：アンケート

結果

平成30年9月27日から10月3日までの7日間でおおい町に住む中学生未満の子どもを持つ親を対象に図1のアンケートを実施したところ、65人から回答を得ることができた。アンケート実施時には、回答者に質問3の『保育園、学童保育につきまして、現状はいかがでしょう？』の回答を4つの選択肢から選んでもらった。しかし、集計の際は「どちらかといえば満足」を「満足」に含め、「やや不満」を「不満」に含め、「満足」と「不満」の2つとして考えた。それを以下のグラフ（図2・3・4）にまとめた。また、質問3の「その他保育園や学童保育について思うこと（自由回答）」で得られた意見を表2にまとめた。

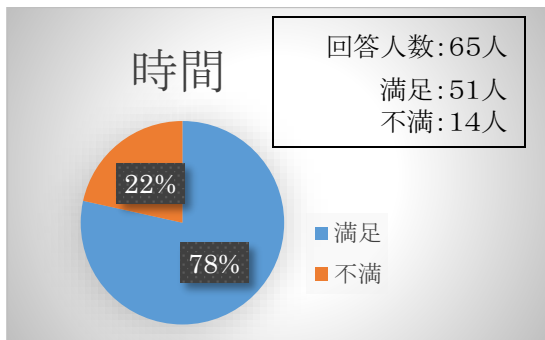


図 2：満足度（時間）

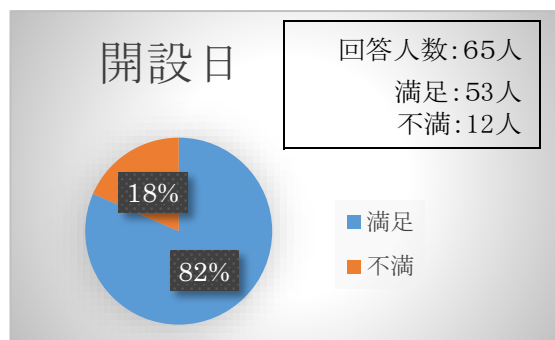


図 3：満足度（開設日）

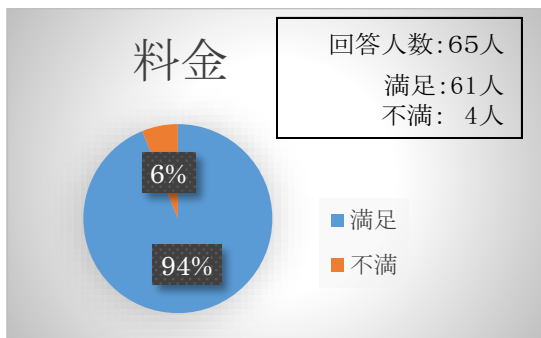


図 4：満足度（料金）

表 2：質問 3 の自由回答で得られた意見

質問3の「その他保育園や学童保育について思うこと(自由回答)」で得られた意見
<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み等に500円程度で給食を出してほしい。 ・預かり開始が遅い、終了が早い。 ・延長保育に柔軟に対応してほしい。 ・土日、お盆もやってほしい。 ・時間単位で子どもを預かってもらえる支援センターがほしい。 ・預かり時間を7:00～19:30にしてほしい。 ・雨風が強い日は、学童で預かってほしい。

以上の結果より、時間については78%、開設日については82%、料金については94%の人が「満足」と答え、全体的に満足している人の割合が高いことが分かった。

また、自由回答では「土日、お盆に子どもを預かってほしい」や「預かり時間を長くしてほしい」という旨の意見が得られた。

こうしたことから、現在のおおい町の保育について全体での満足度は高いものの、土日や長期休暇に子どもを預けられる場所を望む声があることが分かった。そのため、休日や仕事の都合で子どもの面倒を見られなくなった場合に、臨機応変に対応できる環境が必要だと感じた。そこで、学童保育や保育園では足りない部分を補うことができる「保育を含む複合的な場」を作ること、この課題を解決できるのではないかと考えた。

政策提言

具体的な事業内容

みんなの我が家づくり

内容は、「保育」「体験」「場の提供」の3つを主とする。

保育・・・幼児保育、学童保育の面を持ち、働く親とその子どもを応援

体験・・・自然、文化など体験活動を通して創造性・協調性を育む

場の提供・・・活動の場、発表の場、人々が集まる場となり、町民が気軽に利活用できる空間づくり

コンセプトは次の2つである。

- ・学校帰りや時間のある時に特に用事はないけれど、立ち寄りたくなる空間を提供する。
- ・子どもが幼少期に通い、大人になった時に帰ってきたくなる場所を提供する。

場所は町内の古民家を活用する。古民家にする理由は、次の3つである。

- ① 初めて訪れた人でも、どこか懐かしい感じがする空間を感じられるから。
- ② 自然に囲まれゆったりとした空間で過ごすことで、他者との距離が縮まり、心の余裕が生まれるから。
- ③ 空き家の利活用に貢献できるから。

運営方法について以下の表（表3）に示した。

表3：保育と体験の運営方法

	保育	体験
運営者	NPO法人	
対象	・おおい町に住む3歳以上の子どもとその保護者 ・おおい町で働く保護者と3歳以上のその子ども	1人で体験をできる年齢から小学校6年生まで
開設日	土・日・祝	
時間	7:30～20:00(18:00以降は延長料金発生)	9:40～11:30、13:00～15:00(2回のどちらか、あるいはどちらも。)
料金	1時間300円。1日1500円、半日800円。 延長は1時間ごとに200円。 食事:1食300円。おやつ:1食100円。	材料費等を徴収。(体験プログラムの内容によってその都度異なる。)
送迎	なし	

運営はNPO法人が行う。土日祝は幼児保育・学童保育として、平日は貸しスペースとして運営し、子どもをはじめ町民が気軽に集まることのできる場を作る

運営にかかわる人材については、次のような人に関わってもらおう。

- ・地域の元気なお年寄り【文化の継承・体験の講師】
- ・大学生（インターン、ボランティア、授業での単位認定）【保育実践】
- ・企業の新人研修、コワーキングスペース【貸しスペース】
- ・町民有志【保育の手伝い】
- ・ジュニアリーダー【保育・体験の手伝い、体験の講師】

保育や教職を学ぶ学生をはじめ、保育に興味のある学生が現場で実践できる場として提供する。また、地域のお年寄りやジュニアリーダーがボランティアや体験活動の講師として参加することで、町民同士の交流の場となり、文化の伝承にもなる。さらに、このコミュニティに参加することで得られる喜びが生きがいにつながる。

ただ単に子どもを預かるだけの保育ではなく、そこで様々な人と交流し、様々な体験をすることで、そこに関わる人みんなで成長していけるような空間を目指す。

町民によって創り出される町民の幸せを、
みんなで感じられる場に。

モデルプラン

おおい町三森にある古民家、(通称「やまぼうし」) を例として考える。
ここは、町のお試し住宅として活用されており、おおい町への移住を検討している方におおい町での生活をより身近に感じてもらえるように、ということを目的として無料で貸し出している古民家である。また、町内で活動する県外の大学生が町を訪れた際に、宿泊地として利用している。

以下に古民家の地図(図5・6)、外観(図7)、内装(図8・9・10)、間取り(図11)を示した。
図5・6中の赤い丸印のところが古民家の場所を示している。



図5：古民家「やまぼうし」の所在地



図6：古民家「やまぼうし」の所在地



図7:やまぼうしの外観



図8:縁側



図9:囲炉裏



図10:広間

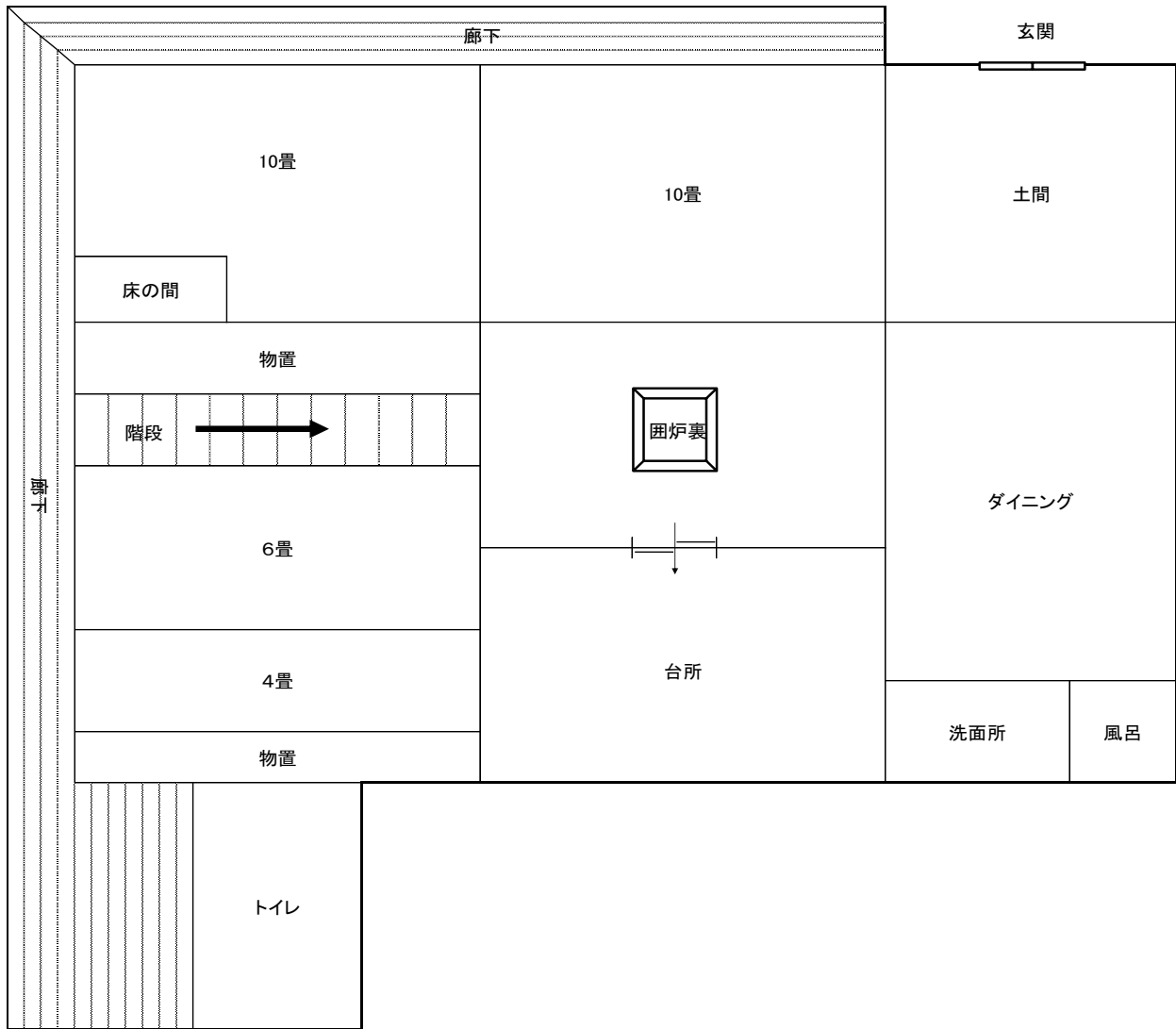


図 11 : 間取り

設備は、床暖房、冷暖房、トイレ、浴室、洗面所、台所、囲炉裏がある。

車両は 7 台程度、駐車可能である。

やまぼうしのメリット・デメリットを以下に示した。

メリット

- ・自然の中で遊びつつ学べる
- ・アットホーム感があるため、利用者が安心感を得られる。
- ・家から一歩外に出れば広がる自然→自然と一体化した空間。
- ・広間でみんなで雑魚寝できる→人と人との距離が縮まる。
- ・縁側や囲炉裏があり、昔ながらの田舎の生活を感じられる。→日本人が求める安らぎ。癒し。

デメリット

- ・アクセスが良くない
- ・地域の理解が必要
- ・持ち主の承諾が必要

貸しスペースの料金区分

- ・1部屋につき1時間1000円、1日3000円。
- ・2部屋借りる場合は1時間1500円、1日5000円。
- ・1棟貸しは、1日10000円、1時間3000円。
- ・借りた人がそこで商売等で、利益が発生することをするのは可とする。

活用例

- ・幼児保育、学童保育の場
- ・体験活動の実施場所(大火勢の松明づくり、マイナースポーツ体験、町民さんの特技講座 等)
- ・カフェスペース
- ・児童や生徒の勉強場所
- ・町民がゆっくり世間話をできる場所
- ・貸しスペース

1日のスケジュール

保育、体験活動を行う土日の基本的な1日のスケジュールを、以下の表(表4)にまとめた。
7:30から開園し、9:15までに登園を完了する。講師を招いて体験活動を行う日は、9:30～と13:00～のいずれか、あるいはどちらも体験活動を行う。体験活動を行わない日は、各自自由に過ごす。昼食は原則持参とする。しかし、どうしても家庭で用意できない場合は、前日までに運営者に知らせると運営者が簡単な昼食を用意する。お迎えは、15:00以降から18:00までのいつ来ても良い。18:00以降の子どもの預かりは、延長料金(1時間200円)が発生する。20:00にはお迎えを完了し、閉園する。

表4：土日の1日のスケジュール

1日のスケジュール	
7:30～9:15	登園・室内あそび
9:15～	片付け・出欠確認
9:20～	朝の挨拶・1日のスケジュール計画作成
9:40～	体験(体験がない日はフリー。体験の復習・勉強等)
11:30～	昼食
13:00～	体験(体験がない日はフリー。体験の復習・お昼寝・勉強等)
15:00～	おやつ(お迎え開始)
15:30～	掃除
16:00～	フリー(体験の復習・お昼寝・勉強等)
18:00～	晩ごはん
18:30～	フリー(体験の復習・勉強等)
20:00	閉園
※18:00以降は延長料金発生	

児童が自ら考えて行動する力を身につけるため、その日1日のスケジュールを児童自身に考えさせる。運営側の大人は、児童の行動を見守るのみであり、指導は最低限しか行わない。

→自主性、創造性・協調性が身につく。

提言実現までのスケジュールは、以下の表(表5)の通りである。

表5：政策提言実現までのスケジュール

各種作業	2019年											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
NPO法人設立												
物件探し												
事業計画												
資金調達												
備品購入												
手続き												
運営補助者募集												
町民への周知												
各種マニュアル等整備												
プレ開園												
開園												

おわりに

おおい町は「子育てがしやすい町だ」という声が多い。しかし、保育の現状を見てみると子育てに関してはまだまだ課題がある。この課題を解決するとともに、「保育」を通して町民同士の交流の場づくりや人と人との繋がりを構築していくことができれば、子育て世代だけでなく多くの町民にとって、おおい町はより住みよい町になると考えられる。さらに、それは文化の継承や高齢者の生きがいにも繋がることが期待できる。そのために、保育をきっかけとして「幼いころから町への愛着を持ってもらえるような仕組みづくり」を提案する。

最後になりましたが、今回の政策提言にあたって、おおい町役場の職員の方々、地域の皆様には大変お世話になりました。また、アンケートにご協力いただいた町民の皆さまには心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

参考文献

[1] おおい町公式ホームページ

入手先 URI: <http://www.town.ohi.fukui.jp/> (2018-10-8)

[2] 森のようちえん もあな保育園

入手先 URI: <http://moana-nursery.com/ichinichi.htm/>(2018-10-8)

[3] 小浜こども園

入手先 URI: <http://obama-kodomoen.jp/obamaclub> (2018-10-8)

[4] 小浜市公式ホームページ

入手先 URI: <http://www1.city.obama.fukui.jp/> (2018-10-8)

[4] 高浜町公式ホームページ

入手先 URI: <http://www.town.takahama.fukui.jp/> (2018-10-8)

[5] 若狭町公式ホームページ

入手先 URI: <http://www.town.fukui-wakasa.lg.jp/> (2018-10-8)